

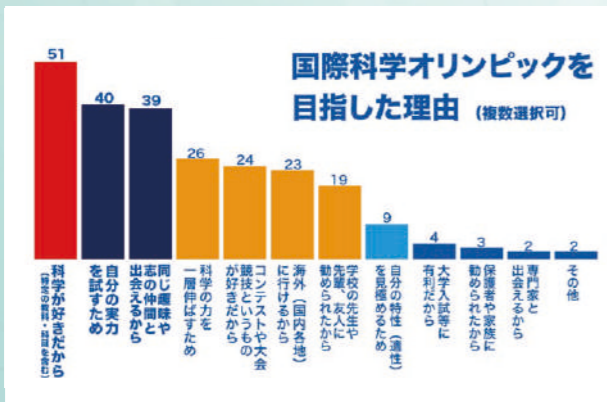
# 国際科学オリンピック プレスイベント2023開催レポート

～科学オリンピックとその先にある未来について語り合う～

2023年10月7日、JST東京本部別館1階ホールで国際科学オリンピックプレスイベントが開催されました。今回は、毎年開催している7教科の日本代表選手による国際大会の参加報告に加え、コロナ禍の2020～2022年に日本代表に選ばれた選手たちによるトークショーという2部構成で行われました。

トークショーは、国際科学オリンピック親善大使で同志社大学ハリス理化学研究所専任研究所員・助教の榎太一さんと、国際科学オリンピック応援団で東京都市大学特任准教授の五十嵐美樹さんをモデレーターに、元オリンピックで現在製薬会社に勤務する齊藤颯さんがゲストとして登壇。日本代表選手たちに事前に行ったアンケートの結果を基にトークを展開しました。

2023年度の代表選手7名 ▶



(資料1)

また、参加した国際大会がコロナ禍によりオンラインでの開催になったことについては、「地学では、国内で調査をする代替プログラムがあり、むしろ日本のことを知るきっかけになった」と前向きに捉える選手がいたのが印象的でした。その一方で、「コロナ禍前後で考え方や進路は変わったか」という質問に対し、ある選手は「コロナ禍で社会が混乱する様子を目の当たりにし、どうしたら科学を正しく伝えられるかという問題意識が芽生え、それを実行することの難しさを日々感じていた」と振り返りました。

最初の質問は「国際科学オリンピックを目指した理由」。結果は「科学が好きだから」が最も多く、「自分の実力を試すため」「同じ趣味や志の仲間と出会うから」と続きました(資料1)。「国際科学オリンピックに参加して得たもの、感じたこと」という質問には、「仲間とディスカッションしたことが刺激になった」「後輩の代表選手をサポートする“チューター”になることができ、充実していた」といった回答があり、仲間や先輩・後輩との交流を大事に感じている選手が多いことがわかりました。



▲トークショーに登壇した豪華な3名

「今後、自分の科学の能力をどのような課題解決に役立てたいか」では、「宇宙における人類の生活圏を増やす」と話す選手の大きな夢に会場が大いに沸きました。その他、「医学研究者となって病気を解明したい」「10年後に自分がどんな課題に取り組んでいるかを予測するのは難しい」など現代が抱える問題の難しさに言及する回答もありました。

「現時点で、将来就きたい職業は何か」という質問では、半数が「まだ決まっていない」としながらも、起業を目指してアメリカの大学に進学したり、地域の課題解決を考えるには自然科学だけでなく人文科学や社会科学も大事だと感じて法学部に進学し、将来は自治体の首長になりたいと考えていたりする選手がいました(資料2)。また、多様な世界を見てきた登壇者からは、「アカデミアでも企業でも各世界にはそれぞれ特長があるから、あまり縛られずに行ったり来たりしてみるのもいいかもしれない」というアドバイスがありました。将来に悩んでいた選手には、多くのヒントが得られたことでしょう。

現時点で、将来就きたい職業は決まっていますか (1つ選択)

1位 決まっていない	28名
2位 アカデミア(大学・院、研究所等)の研究職	20名
3位 民間企業の研究職	3名
4位 その他	2名
5位 民間企業(研究職以外、エンジニアなど)	1名
5位 起業	1名

(資料2)

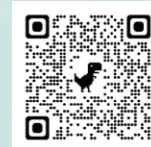


▲参加者全員での記念写真

最後に、「みなさんこうして話して、日本の未来は明るいと感じられました」(齊藤さん)、「今、科学を面白い、楽しいと思っているみなさんには、感情が動いたことで生まれたこの気持ちを忘れないでほしい」(五十嵐さん)と感想を述べた二人。そして、榎さんが「これからは、みなさんがつくっていく時代。誰かに言われたからではなく、自分たちが日本をどうしていきたいかという意識を持ってほしい。そのために科学はどうあるべきかを考えながら、自由な発想で進んでいってください」と締めくくると、会場には大きな拍手が起こりました。

本イベントのダイジェストムービーは以下からご覧になれます。

▶ [https://www.youtube.com/playlist?list=PL7Y4\\_Cpt1RWqCJ8zQBMrnRYjDdRbLZkUR](https://www.youtube.com/playlist?list=PL7Y4_Cpt1RWqCJ8zQBMrnRYjDdRbLZkUR)



## TOPIC

国際科学オリンピックから未来のオリンピックとなるみなさんに向けたメッセージ動画「科学オリンピックの世界へようこそ！」を制作しました。このメッセージ動画は全20回で構成され、国際科学オリンピックに日本代表として出場したオリンピック計59名が国際科学オリンピックの魅力や学習法、科学を学ぶことの面白さなどを熱く語っています。ぜひご覧ください。

▶ [https://www.youtube.com/playlist?list=PL7Y4\\_Cpt1RWq-qqvLhn-bUx2cQMfLA61](https://www.youtube.com/playlist?list=PL7Y4_Cpt1RWq-qqvLhn-bUx2cQMfLA61)

